

～頭絡（2本よりもくし）の作り方～

〔材料〕

- ・ロープ（3本撚り 9mm 経） 長さ 8 m
- ・よりもどし 1ヶ（あれば良い）

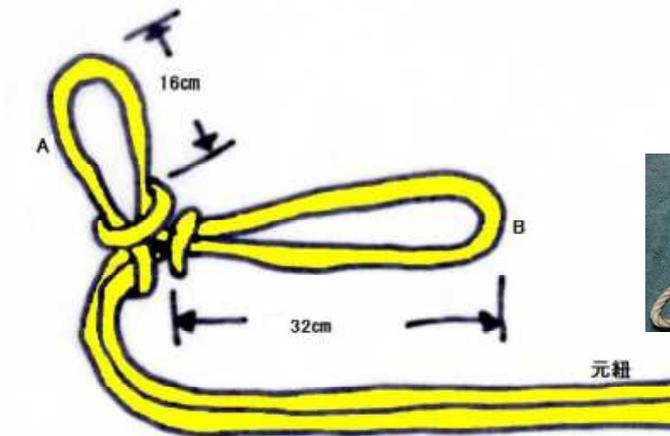


*最初に、さつま結びでロープをつないでおく。（以下、ロープの輪を作った状態で作成）

〔作り方〕

① ロープを半分に折り、右図の場所に『三つ編み』をつくる。

（Aは16cm、Bは32cmの長さにする）右顎部となる。



（注『さつま結び』で作ったつなぎ目が『三つ編み』の中にくるようにする）

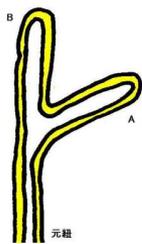


三つ編み完成 表

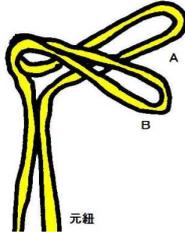


三つ編み完成 裏

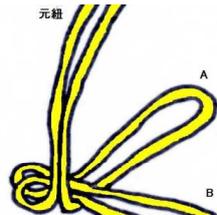
〔『三つ編み』の作り方〕



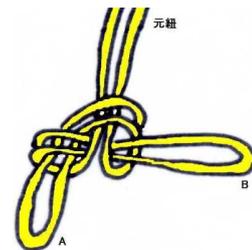
(1) ロープをたるませて二つ折り（A、B）を作る。



(2) BをAの手前に曲げる



(3) さらに元紐をその上方に曲げる



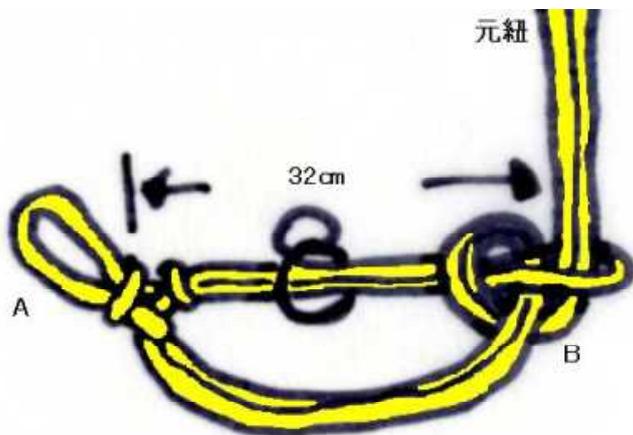
(4) Aをさらに元紐の上に曲げてBの基部に差し込んでひっぱり完成。



②

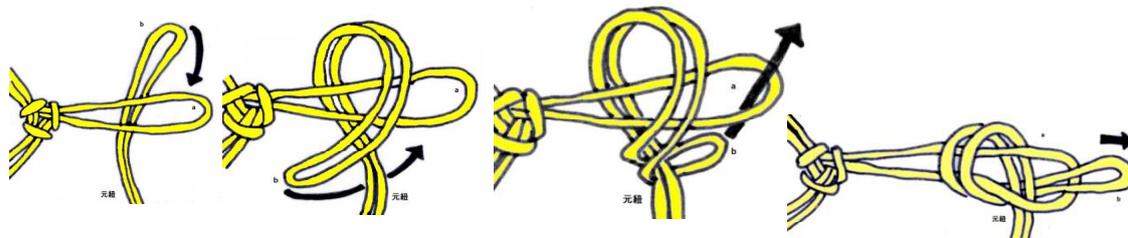


A基部より 32cm で元紐をBに『巻き結び』をする。
 「よりもどし」を入れる場合は、32cmの部分に通す。
 鼻紐、左顎部が完成。



『巻き結び』完成

〔『巻き結び』の作り方〕



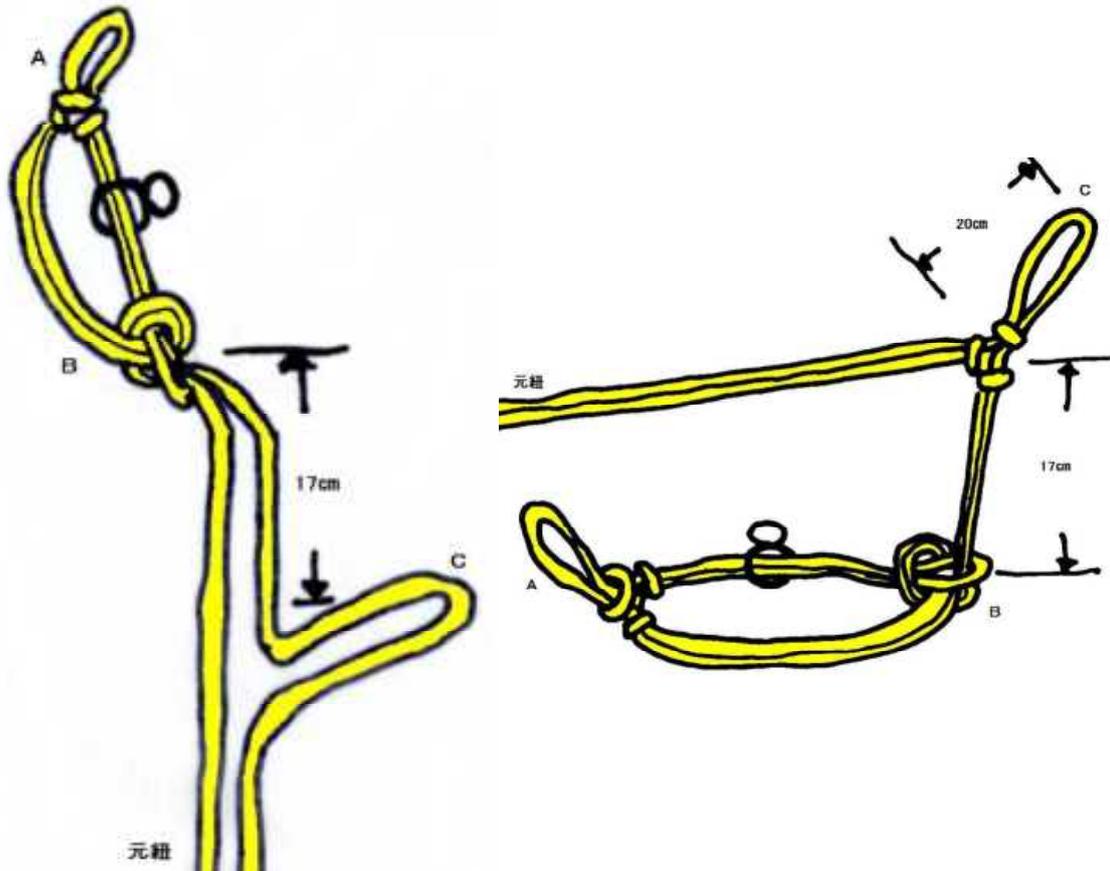
(1) 巻き結びをつくる輪 a の下に、結ぶ輪 b を重ねる。

(2) b を下方に倒し、図 3 のように a に通す。

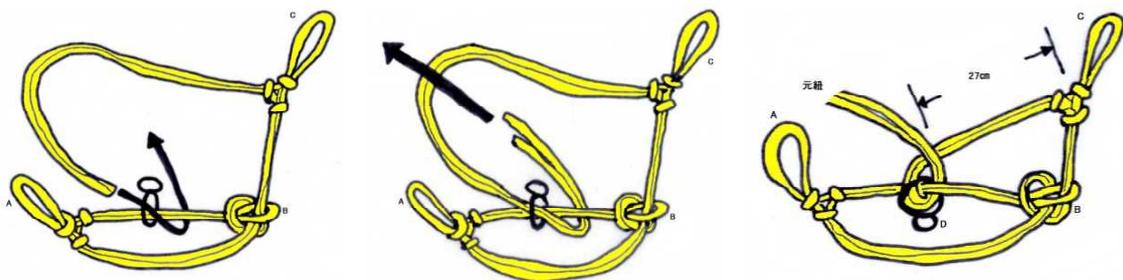
(3) b をぎゅっとひっぱり、巻き結びの完成。



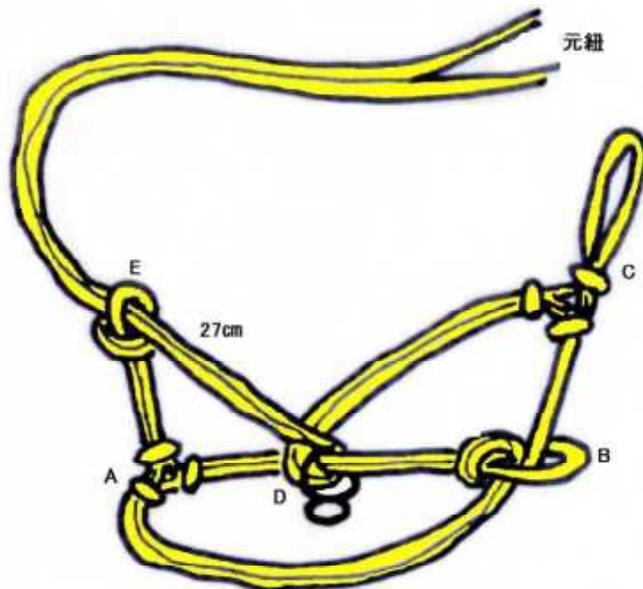
- ③ B片の『巻き結び』から17cmのところに『三つ編み』を作る。
 (前述の『三つ編み』の作り方参照)
 C片の長さは20cmとする。
 左顎部が完成。



- ④ 元紐の端をB片の中央で交叉するように巻き付ける。
 「よりもどし」を入れる場合は、D部で下図の手順で通す。
 ロープの長さはC基部より27cmのところまで巻き付ける。
 顎部が完成。

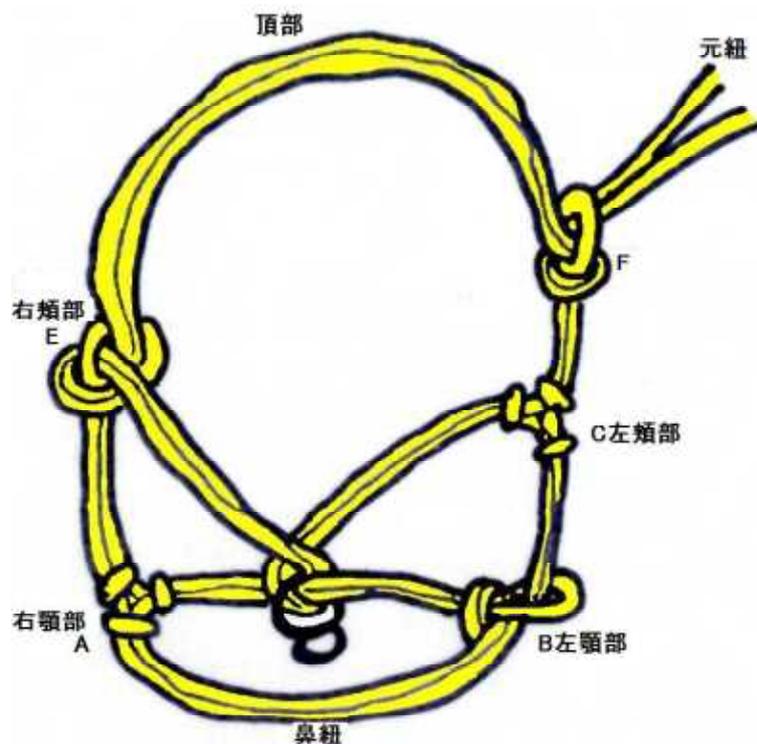


- ⑤ D部で巻かれたロープは、更に27cmのEでA片に『巻き結び』をする。
右顎部が出来、完成。



〔使用時の図〕

家畜につけるときに、大きな調節はF部で行う。



*輪を作らずに作成した場合ロープの先端は、「バック・スプライス」でほぐれ止めの処理をする。

参考資料 新得畜試 (現 畜産試験場) 種畜部馬産科 古トワイン利用による「もくし」(頭絡) の作り方